

-----6月29日-----

## 今週のアウトルック（6/29～7/26）

先週からこう着感が強い展開が続いています。ドル円は95円から96.5円の狭いボックスの中に収まってしまっています。ここを抜け出すためには何かキッカケが欲しいところですが、今週はキッカケになる材料があるかもしれません。

本日の朝発表された日本の鉱工業生産-5月（速報値）は、予想されたほどの改善を示す数値ではありませんでした。日経平均は10時現在、失望売りの反応はさほどなく、小幅高となっています。ユーロドルは発表直後から売られる状況が続いています。為替のほうがりスク回避の動きとして、素直な反応を見せているのかもしれません。

明後日の日銀短観、木曜日発表の米国失業率に注目しています。ある程度の改善が見込まれて、株、為替ともに今の水準に至っている感があります。予想外の数値が出た場合にボックス圏の下抜けトライの可能性があるといます。

今週のドル円はマクロ指数に対する過大期待、テクニカル要因等からボックス圏の下抜けの可能性が高いように思います。そろそろ95円付近のサポートも弱くなるように思いますので、手仕舞売りからストップロス巻き込めば94円以下へトライの可能性もあるように思います。想定レンジは94円から96.5円を考えています。

今週のユーロ円は、ユーロドルの1.41あたりのレジスタンスが強く、そろそろ利益確定売りが大量に出てもおかしくない時期に来ているように思います。株、商品先物が調整方向へ動いた場合に、リスク回避の動きがより高まることも考えられます。131円後半までの動きも想定しておく必要があるように思います。レンジ幅としては131.5円から135円を考えています。

ここ数か月のポンド円は、ファンダメンタルズやテクニカル要因で考えることが難しかったように思います。これはボラティリティから考えても、短期投機筋の仕掛けに左右されていた可能性

が高いように思います。しかし、そろそろ落ち着いてもよいころかなと考えています。

今週、もし155円下抜く展開があるようであれば、来週以降も一気に大きく下落という可能性もあるように思います。

想定レンジは154円から160円を考えています。

今週は2009年後半の動きを示唆する、大きな転換点になる可能性もあるように思います。景気回復期待からのリスク回避の動きがどこまで続くかを見極める上でも、大切な週になるように思います。

**\* 免責事項 \***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。